

○ “ふれあいの森”（おいらせ知の会）植樹活動

6月25日（土）、十和田市大字奥瀬字谷地国有林119林班内において、「川を守るためにみんなで植樹をしましょう」をスローガンに掲げ、河川浄化活動等を展開しているボランティア団体“おいらせ知の会”の植樹活動が行われました。

“おいらせ知の会”では、十和田市の中心を流れる奥入瀬川を始めとする河川の潤いある水辺空間や動植物の環境保全を図るため、川や水辺に関心を持つ地域住民が「かわ」のあり方について提言し、河川の浄化活動等を行っています。

当日は天候に恵まれ、小学生以下の児童を含む約40名の会員とその家族の方々が参加され、植樹前のセレモニーでは、田中会長の挨拶があり、模範植樹を行い、植樹を開始しました。

参加された会員の方々は、親子で助け合いながら、一生懸命にブナの苗木100本を植え、植樹後は、畑中流域管理調整官がブナの話や国際森林年について説明を行い、よりよい森林をつくり出すのは、皆さんのようなボランティア団体や小学生などによる植樹活動など、森林の手入れがとても重要で、様々な機会を捉え森林に関わっていただきたいとお願いし森林教室を終了しました。

その後、参加者全員で記念撮影を行い、奥入瀬川焼山まで下山して昼食をとり、当日の日程を終了しました。



植樹の様子（その1）



植樹の様子（その2）



植樹の様子（その3）



参加者全員で記念撮影